

会議の開催結果について

- 1 会 議 名 令和6年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行
推進協議会
- 2 会 議 日 時 令和7年2月17日（月）

午前

・午後 10時00分 から
- 3 開 催 場 所 上尾市青少年センター 会議室2・3
- 4 会 議 の 議 題
 - (1) 令和6年度 事業実績について
 - (2) 令和6年度 地域クラブ活動実証事業について
 - (3) 令和7年度 事業計画（案）について
 - (4) 令和7年度 地域クラブ活動実証事業について
- 5 公開・非公開 公開
の別
- 6 非公開の理由 無し
- 7 傍 聴 者 数 0人
- 8 問い合わせ先 上尾市教育委員会学校教育部指導課
(担当課) 048-775-9672

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会	
開 催 日 時	令和7年2月17日（月）午前10時00分から正午まで	
開 催 場 所	上尾市青少年センター 会議室2・3	
議長(委員長・会長)氏名	只隈 伸也	
出席者(委員)氏名	萩原 康彦 宮内 光雄 鹿井 ゆかり 金子 輝大 洞派 英樹 根本 和彦 佐藤 和成 永井 基生 高山 亮平	
欠席者(委員)氏名		
事務局(庶務担当)	武田 直美 椎名 邦充 平賀 健治 川上 浩行 森 正典 玉造 勇輝 國分 隆幸 遠藤 誉幸 大平 篤 AGEO地域クラブ統括コーディネーター	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	1 報告 （1）令和6年度 事業実績について （2）令和6年度 地域クラブ活動実証事業について 2 協議 （1）令和7年度 事業計画（案）について （2）地域クラブ活動実証事業について	別紙のとおり
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 0 名
会 議 資 料	・ 令和6年度第3回上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会資料 ・ 別冊資料①第9回「休日の運動部活動地域移行に係る地域ミーティング」発表資料 ・ 別冊資料②夢を育み 未来を創る 上尾の「部活動改革」保護者用リーフレット（第2号、第3号、第4号、第5号、第6号） ・ 別冊資料③AGEO地域クラブアンケート調査 ・ 別冊資料④令和6年度「AGEO地域クラブ」実証事業実施要項 ・ 別冊資料⑤令和6年度「AGEO地域クラブ」実証事業 第2クール募集要項 ・ 別冊資料⑥上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」の推進プラン ・ 別冊資料⑦令和7年度「AGEO地域クラブ」実証事業実施主体団体募集要項 ・ 別冊資料⑧AGEO地域クラブ開始に向けた推進イメージ（案） ・ 別冊資料⑨令和7年度AGEO地域クラブ活動拠点（案）	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和7年 3月18日 只隈伸也 議長(委員長・会長)の署名 _____ 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)		

議 事 の 経 過

発言者	議題・発言内容・決定事項
只限委員長	この令和6年度 第3回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会は、審議会等の会議の公開に関する指針の3会議の公開により、公開するものとなりますが、委員の皆様には御賛同いただけますでしょうか。
全委員	異議なし。
只限委員長	では公開の協議会とさせていただきます。事務局、本日、傍聴の申し出はございますか。
遠藤	本日の傍聴の申し出はありません。
只限委員長	それでは協議に移らせていただきます。 まず、報告（1）令和6年度 事業実績について、事務局より報告願います。
事務局	報告（1）令和6年度事業実績について説明いたします。 資料1を御覧ください。 ○印を本事業に係る取組、★印をモデル事業の実施、◆印を先進地視察・各種研修会への参加、■印を調査として、令和7年2月17日現在の実績及び今後の予定をまとめました。 本日の説明では、いくつかの事業にしばって説明いたします。 最初に、先進地視察・各種研修会への参加についてでございます。 今年度、先進地視察としまして、新潟県教育庁主催「N I I G A T A部活動地域移行（地域展開）シンポジウム」及び、茨城県教育庁主催「部活動地域移行シンポジウム」に参加し、全国規模で先進的に事業を推進する地域における事例等を収集いたしました。 「N I I G A T A部活動地域移行（地域展開）シンポジウム」では、スポーツ庁部活動地域移行専門官による行政説明や、全県的に地域移行をする中で、さらに重点地域に指定された長岡市、村上市の取組事例の紹介、スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザーによるパネルディスカッションに加え、部活動改革の課題を整理するワークショップが実施され

	ました。 「茨城県部活動地域移行シンポジウム」では、茨城県内の重点地域の取組事例の紹介、今後の地域展開へ向けたアクションプランの策定に取り組むワークショップの実施等を通して、今後の本市における取組の参考にすることができました。 埼玉県主催「休日の運動部活動地域移行に係る地域ミーティング」では、本市における今年度の取組について、経過を発表する機会を頂戴し、AGEO地域クラブ統括コーディネーターとともに、報告してまいりました。 別冊資料①が、当日の発表資料となります。 なお、この後の報告（２）において、本別冊資料を用いて、令和６年度の取組を説明させていただければと存じます。 （６）上尾市における部活動地域移行推進事業に関する保護者説明用動画配信についてでございます。 これから中学校に進学する小学生の保護者に対し、AGEO地域クラブの設置趣旨等を説明し、事業への理解促進を図ることを目的に、市内各中学校における新入学説明会において、説明用動画の配信を行いました。 なお、新入学説明会の開催がない場合や、会の中での配信が困難な場合には、別途保護者通知を作成し、該当校を通じて、新入学保護者に配布しております。 続いて、「上尾市地域クラブ活動ミーティング」についてでございます。 １１月に実施した第３回「AGEO地域クラブ」シンポジウムの開催実績について掲載いたしました。 第３回は、２部構成でAGEO地域クラブ実証事業の見学会、参会者同士による意見交換会を実施したところでございます。 今回も、参会者の皆様から、今後のAGEO地域クラブ運営における貴重な御意見を多数いただくことができ、大変有意義な意見聴取の機会とすることができたと捉えております。 なお、今年度最後の地域ミーティングは、「AGEO地域クラブ」見学会として、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」の公開等を３月に実施する予定でございます。 続いて、（９）「AGEO地域クラブ」プロモーションムービーの配信についてでございます。 こちらは、報告（２）の説明において、後ほど御覧いただきたいと思います。
--	---

只限委員長	最後に、（１０）調査についてでございます。 実施済の、調査結果等について掲載しております。 結果について御覧ください。 別冊資料③「ＡＧＥＯ地域クラブ」に関するアンケート調査を御覧ください。 まず、中学生の結果についてでございます。 ＡＧＥＯ地域クラブに設置してほしい種目について尋ねた質問では、令和６年度実証事業に設置ができなかった「バドミントン」「料理」「サッカー」「ダンス」等に対し、希望が多い結果となりました。 また、今年度の「ＡＧＥＯ地域クラブ」事業に参加した生徒の割合は、１３％となっております。 小学生では、上位１０種目のうち９種目が、令和６年度未設置種目である「料理」「バドミントン」「プログラミング」「美術」「サッカー」「水泳」「手芸」「ダンス」「吹奏楽」となりました。 本調査の結果につきましては、次年度の実証事業実施の参考としていきたいと考えております。 報告（１）令和６年度事業実績については以上でございます。 ただいまの説明について、御意見、御質問等はございますでしょうか。
事務局	スポーツ庁から、重点地域に指定されている新潟県及び茨城県で開催されたシンポジウムに、事務局から参加されたということです。もう少し詳しく視察の成果等を報告いただけますでしょうか。 それでは事務局より、補足いたします。 まず、「ＮＩＩＧＡＴＡ部活動地域移行（地域展開）シンポジウム」についてでございます。 シンポジウムには、スポーツ庁地域スポーツ課地域スポーツクラブ活動推進係 沢田 佳史 専門職が出席しており、全国規模での取組の推進状況についての説明がございました。 沢田専門職からは、令和７年度までの改革推進期間後、令和８年度以降の改革実行期間について、具体的なロードマップが示され、スポーツ庁として、改革実行期間中に、全国すべてにおいて、地域展開を必ず実現させるというお話がございました。また、「地域移行」という名称は「地域展

	開」と今後改められることが示されております。 重点地域である長岡市では、種目別にエリアを決めている取組が紹介されました。また、運営団体であるスポーツ協会も含め、「4者協定の締結」により、関係団体が連携して推進する体制が構築できているとのことでした。さらに、既存の学校部活動を中心にしつつ、多様なスポーツ機会の創出を目指しておられます。 なお、長岡市では、令和7年度より、中体連主催大会への参加は、地域クラブからの参加のみとする方針とする予定とのことでございます。 「茨城県部活動地域移行シンポジウム」における重点地域である守谷市の発表では、「ふるさと納税型クラウドファンディング」の成功により、潤沢な財源の確保につながっているとの実践報告がございました。 今年度は、1,000万円を超える寄付が集まったとのことでございます。 また、土浦市では、「地域クラブフェス」を行い、そこにスポンサーブースを設け、御協賛いただいた企業に対する御礼（対価）とするなどの取組を進めているとの情報がございました。 補足報告は以上となります。
只限委員長	ありがとうございました。今、説明の中でお話にありましたが、「地域移行」が「地域展開」という名称になり、令和8年度から改革実行期間となったということです。その中で、先進的な事業ということでお話が出ましたが、茨城県守谷市では、ふるさと納税型クラウドファンディングを行っているようです。
事務局	守谷市では、「ふるさとチョイス」を運営する企業と契約を交わし、ふるさと納税型クラウドファンディングを行っています。守谷市にふるさと納税をした方に対して、何に使ってほしいかを尋ねる選択肢の中に、部活動地域移行を設定しています。
只限委員長	新潟県は、地域の運営団体が充実しているということでしょうか。
事務局	新潟県長岡市は、スポーツ協会が運営団体になっており、そのスポーツ協会が長岡市内の地域クラブ活動を管理・運営しています。山形県との県境にある村上市では、上尾市と同様に、総合型地域スポーツクラブが運営

	団体となって実施しております。
只隈委員長	今、運営団体の話が出ましたが、教育委員会と運営団体が連携することについて、AGEO地域クラブ統括コーディネーターさんはどうお考えでしょうか。
統括コーディネーター	運営団体として、教育委員会とは密にコミュニケーションをとりながら、良い関係を築けたと思っています。結果的に、お互いの業務が進めやすくなっています。今後も、上尾市教育委員会と統括コーディネーターの良好な連携体制を築き、子供たちのためにつなげるようにしていきたいと思っています。
只隈委員長	円滑に進むということが、とても大事なことだと思います。 児童生徒を対象とした調査を行ったということですが、結果についてもう少し補足をお願いします。
事務局	それでは再び、別冊資料③を御覧ください。 補足といたしましては、AGEO地域クラブに今後、どのような変化があれば入りたいと思うかという質問について御紹介いたします。 上位4項目につきましては、小・中学生ともに同じものが選択されています。特に新たな発見として、試合形式（ゲーム形式）での活動が行われていることに対する希望が、専門的な指導を受けられることを上回る結果となったことがございました。 現在の実証事業では、各実施主体団体の指導者による専門的な指導が受けられることを参加対象である子供たちにアピールしてきたわけですが、子供たちの高いニーズは、他にもあることを実感した次第でございます。 以上でございます。
只隈委員長	調査結果について、バドミントンや家庭科にニーズがあったということです。
永井委員	小学校5年生から家庭科の授業が始まることが結果に影響していることもあると思います。プログラミングに関しても、多様な教科等で取り組

	んでいますので、さらに学びたいという児童が一定数で出ていることは納得がいくところです。
鹿井委員	「参加していない」と回答した中学生に対する質問で、今後、「試合形式（ゲーム形式）の活動が行われる」ことに対する回答が多かったとのこと。基本的な技術を磨くことはもちろんですが、どんな演奏をするか、どんなプレーをするのかということが、子供たちの頭の中にあると思います。地域移行の事業を今後どのようにしたいのかということ象徴した結果だったと思いますので、さらなる調査研究が必要だと思います。
高山委員	上尾市の素晴らしいところは、明確な目標「AGEO地域クラブ」の体制づくり、システム化を図っていることだと思います。今後は、AGEO地域クラブへの参加率の目標設定があってもよいかと思います。目標設定に対して、どれだけの実績があったかが評価になるかと思います。
只隈委員長	次に、報告（２）令和６年度地域クラブ活動実証事業について、事務局より説明願います。
事務局	報告（２）令和６年度地域クラブ活動実証事業について、説明いたします。 まずは、スポーツについてでございます。今年度、体制づくりの柱として取り組んだことが令和６年度新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業となります。 これまでの経験を生かし、各地域クラブ活動が異なる運営方式を取るのではなく、同条件下で複数種目が実施される体制を目指しました。 そして、運営事業者としてのAGEO地域クラブ代表者会議を発足させ、全種目を統括するコーディネーターを配置したところでございます。 御承知のとおり、AGEO地域クラブ統括コーディネーター業務は、運営ノウハウに長けた民間事業者に委託することとしました。 委託業者は市内所在の総合型地域スポーツクラブのサンワエナジークラブとなります。 今年度実施した種目は７種目です。 なお、AGEO地域クラブでは、最終的に、１種目につき４拠点の設置を目指しておりますが、今年度は、運営体制の構築をメインの趣旨として

	ございますので、各種目 1 拠点ずつ、計 7 拠点での実施としております。 参加者募集の結果、記載のとおり、7 種目計 3 4 0 名を超える市内中学校在籍生徒に御参加いただいております。 当初の想定が、各種目 3 0 名程度の参加者、7 種目計 2 1 0 名でしたので、大きく想定を超える結果となり、地域クラブ活動への生徒のニーズがあることを実感した次第でございます。 参加費は、1 回につき 3 0 0 円となります。また、参加費徴収をキャッシュレスで行うため、スクール運営プラットフォーム「スGRAM」を導入いたしました。 スGRAMにつきましては、参加費徴収に加え、保護者との連携にも役立つ、大変有益なアプリであったと捉えております。当日の出欠確認や実施前後の連絡等もアプリ上で実施いたしました。 なお、実証事業開始に当たり、各実施主体団体代表者を集めた代表者会議の開催、登録指導者を集めた研修会を実施しております。指導者研修会については、AGEO地域クラブ統括コーディネーターが運営を行いました。 AGEO地域クラブ登録指導者数は、現在 5 9 名となっております。 会場借用については、学校施設の鍵、備品等を、AGEO地域クラブ統括コーディネーターが借用する形式で実施いたしました。各地域クラブ活動で使用する備品等は、原則として、会場校のものを使用しております。 なお、今年度の事業実施に当たり、AGEO地域クラブ統括コーディネーターから企業協賛を依頼したところ、北本市所在の株式会社エージェント様、東京都所在のナガセケンコー株式会社様から、それぞれ費用協賛、物品協賛をいただくことができました。 続いて、第 1 クールの終了に合わせて実施したアンケート調査の結果について、簡単に報告いたします。 生徒たちは、地域クラブに、様々な良さがあると感じている一方、困ったこと等を聞いてみると、「自宅から会場までが遠い」など、1 拠点であることへの不満が多く上がりました。上尾市内 1 1 校から生徒を集めるのは、各地域に拠点を設ける必要があると感じたところでございます。 保護者にも伺ってみましたが、概ね、実証事業は御好評をいただけたようです。 保護者の願いとしては、「専門的で丁寧な指導を受けられること」「保護者が送迎することがない環境整備」等が挙げられています。
--	--

	また、参加費額については、できるだけ低廉安価な価格を望まれているようです。 登録指導者からも、概ね好評をいただきました。指導者がやり易い、働くことに価値を感じていただける環境整備も、留意すべき大切な事項となります。 成果も課題も多く挙げられましたが、結果を踏まえ、令和7年度は、A G E O地域クラブとして、種目数、拠点数の増加を図り、実施規模を拡大すること、活動の充実を図ること、そして持続可能な運営体制を構築することに取り組みたいと考えております。 次に、今年度の、イングリッシュサロンの活動について御説明します。 資料24項(1)「参加者」、(2)「外国人講師及びコーディネーターの配置」、「業務委託内容」につきましては、前回までに御説明したとおりでございます。 続いて、(4)に「主な活動内容」を画像で紹介しております。 ③他会場とのオンライン交流では、最大で、全6会場をオンラインでつなぎ、公民館対抗クイズ大会を実施しました。参加者には大変好評で、月例アンケートでは、毎月、公民館対抗の活動を希望する声が多く挙げられています。 ⑤「日本文化紹介動画」については、Y o u T u b e で限定公開し、保護者はもちろん、委託業者であるジョイトークさんの従業員約400名のA L T に視聴してもらうとともに、感想や意見をコメント欄に英語で書いてもらい、それを読むというところまでを一連の学習活動とし、実施しました。 ⑥「市内小学校向け教材作成」では、・各会場で撮影した動画は、編集でつなぎ合わせて1本の作品にし、市内の小学校で放映する予定です。 ここからは、満足度アンケートの結果について語説明します。資料26項を御覧ください。 満足度アンケートは、毎月末に、参加生徒及び保護者を対象に実施しています。 御覧の結果は、9月から1月までの計5回のアンケートを集計したものになりますが、満足度99%と、大変高評価をいただいています。 参加者からは、A L T とたくさん話することができる、楽しく活動ができる、また、今までの習い事で一番楽しいというコメントがありました。 今後希望する活動についての記述を月ごとに記載しました。
--	--

只限委員長	イングリッシュサロンは、「参加者のニーズ」に合わせた活動を実施していくことも大きな目的の1つとしている中で、希望のあった活動をできるだけ多く実施してきました。このあたりも、参加者の高い満足度の要因となっていると捉えています。 次に、保護者アンケートの結果です。 保護者の方々からも、満足度96%という高評価をいただきました。 会場の人数制限等の関係もあり、保護者が参観する機会を設定することができていない中ですが、参加児童生徒が、家に帰って、イングリッシュサロンでの様子を楽しく話している様子がうかがえます。 次に、参加者及び保護者アンケートの結果も含めて、本事業の運営面での課題やまとめについてご説明します。 「保護者が活動内容を見ることができる機会」の設定や、「資格試験対策」、「英語力の差への対応」等、活動形態や活動内容については、引き続き検討してまいります。 その他では、「実施日の設定」、「委託業者と家庭との連絡方法」、「持続可能な事業とすること」等が、今後の課題であると捉えています。 令和6年度のイングリッシュサロンの活動実績及び成果と課題については以上でございます。 最後に、「AGEO地域クラブ・チャレンジ事業」についてでございます。 先ほどのスポーツ庁、文化庁委託事業とは別に、市独自のモデル事業として取り組んだ事業実績についてまとめてございます。 現在までに、「サッカー」「ゲートボール」「ニュースポーツ」「吹奏楽」「合唱」「プログラミング」「茶道」実施または予定しており、次年度以降の種目数拡大と基本方針に掲げる「多種目」「多志向」「インクルーシブ」な環境づくりに向けた取組を推進いたしました。 最後に、別冊資料⑦を御覧いただければと存じます。次年度は、公平性確保と地域の潜在能力発掘のため、実施主体団体公募制度を設けることとしており、現在、団体の募集を開始したことを報告いたします。 報告（2）令和6年度 地域クラブ活動実証事業については以上となります。 AGEO地域クラブ実証事業では、統括コーディネーターを務めてくださっているサンワエナジークラブさんの役割が非常に重要だと感じまし
--------------	---

統括コーディネーター	た。統括コーディネーターの視点で、今年度の実証事業の成果や課題等について、どうお感じになっていらっしゃいますか。 運営については、事務局と密に連絡を取らせていただいたので、大きなトラブルはありませんでした。成果の1つとして、運営体制の構築、活動時の基本的な流れができたと思っております。また、第1クールに、巡回を行い、丁寧にコミュニケーションを図ることで、することによって各指導者の方々と関係を築けたことで、第2クールは巡回の回数を減らしても問題なく進めていくことができます。課題としては、欠席連絡が挙げられます。活動開始時、最初に出席をとりますが、家庭に連絡をしても、連絡が付きにくいということがありました。また、正式な申込経路をたどらずに、当日の活動に参加するというケースもありました。都度、対策をとり、なるべく多くの生徒が参加できるような仕組みを構築できたと思います。 また、先ほどもお話がありましたが、「成果の発表の場がない」ということについて、実際に、ソフトテニスに参加した生徒のアンケートにも、「練習だけでなく試合がしたい」という声がありました。実施主体団体としての話にはなりますが、来年度は、会場を確保するなどして、他市のクラブチームとの交流機会をつくっていくというような活動ができればと考えております。 様々な課題がある中ではございますが、今後も、上尾市教育委員会や指導者の皆様と協力関係を築いていければなと思っております。
只限委員長	指導者としての意見はいかがでしょうか。
統括コーディネーター	今年度、ソフトテニスにつきましては、指導の内容や方法というところに関して、特に問題なく実施できたと思います。 南中学校は、テニスコートが4面あり、各コートをレベル別に分けたり、生徒の要望にあった練習を臨機応変に行ったりしました。先ほどのアンケートにもあったように、「試合ができない」という意見もありましたが、平均参加者人数が約60名ということ、試合をすることで待ち時間が多くなり、活動が少なくなるということを考慮し、基礎の技術指導を行いました。 今後、他の競技の指導方法や雰囲気づくりなどを学べる機会があると良

	いと思います。
洞派委員	陸上競技は、短距離、長距離、跳躍、投てきに分かれて指導を行いました。今後は、参加者との関係性が薄い中での指導や、参加者の要望にどこまで応えられるかが課題と考えています。 また、指導者として引き出しをたくさんもっていないといけないということと、雰囲気づくりはとても大切であると感じました。そのために、コーチ陣のコミュニケーションや結束が大事であることも感じました。
只隈委員長	ティーチングとコーチング、どちらを大事にするのか、ということにもつながると思います。
永井委員	チャレンジ事業の合唱で指導をしました。参加者は、小学校5，6年生、中学校1，2年生で、20名弱でした。子供たちの関係性を作るためにアイスブレイクからスタートし、その後、一緒に歌っていくという流れで実施しました。アイスブレイクの中にも、音楽の要素を取り入れて、音楽が上達するような工夫をし、合唱につなげていくという形をとりました。満足度が高かったようなので、今後もこのような流れを続けていきたいと思っています。 先ほど、試合等実践の場がないというお話もあったので、次年度もこの活動が実施できるのであれば、子供たちが望む、コンクールへの参加等も検討していけたらと考えています。
高山委員	謝金が5，500円ということは、良いと思いました。近隣市町でも同じように部活動の地域移行の事業が始まると思いますが、謝金が高い方に指導者が流れることは、市場原理として当然のことだと思います。ある程度高い金額の設定というものは、指導者の確保にもつながるため、周辺の市町より高いことは今後の強みになると思います。費用については、公費で賄われるのか、参加費の負担額を上げるかになると思います。また、企業の協賛については、市内の企業等にもっと強くアピールし、活用しても良いと思います。その結果、参加費の負担額が抑えられるのなら、好循環を生むと思います。お金に関わる議論は、積極的に進めるべきと考えます。
鹿井委員	トライアンドエラーで、課題が出たら解決していくという流れは良いと

	思います。市内の音楽団体が集まった際に、意見を聞いてみました。実施主体としての募集はされているようですが、地域の市民団体がどのように関わったら良いのかが分からない、関わった際に指導者の人材が確保できるか、一年間指導できるだけの運営ノウハウがあるかという不安があります。故に、現状では、関わることは難しいと感じています。募集をかける際には、丁寧で具体的な説明が必要であると感じました。 また、個別の実技指導をすればよいのか、個別に指導した子たちを集めて合奏の形になるようにすることを求められているのか、指導者がどんなことを指導すればいいのか、ということも分かりません。指導をすることになると、一般のレベルでは難しいと思います。
只隈委員長	金子委員、文化芸術について、どうお考えでしょうか。
金子委員	イングリッシュサロンについて、外国人講師の中には、講師謝金を得ることによって、助かっている面はあるかと思います。参加者についても、意欲が高い子が多いということで、素晴らしい取組だと思います。
根本委員	令和8年度からの休日の完全実施について、新1年生から関わってくると思いますが、新入生やその保護者にどう説明していこうかと考えています。大会への参加等についても、確定していない段階では伝えることはできないと思います。平日の活動は学校で、休日の活動はAGEO地域クラブで、という今のスケジュールの中で、AGEO地域クラブではなく学校単位での大会参加となった場合、学校部活動に入っていない子たちはどうなるのか、心配です。令和8年度から、中体連の大会に確実に参加できる方法を確保しないと、話は先に進みにくいと思います。大会の運営についても、課題が残ると思います。今、考えられている、拠点校としての活動であれば、中体連の大会にも参加ができ、令和7年度から実施しようとしている土曜は学校部活動、日曜日は地域クラブ活動という形も生きてくるのではないかと思います。先ほどの意見にもあった、ゲーム形式という活動の先には大会への参加があると思いますので、そこをはっきりとさせた上で、生徒、保護者に説明すべきだと考えます。 また、出席確認については、学校であれば、生徒が家を出てから家に帰るまでが学校管理下となっています。事故等があった場合の対応については、保護者からの信頼に大きく関わることだと思います。

只隈委員長	リスクマネジメントについての課題は、検討する必要があるということです。
佐藤委員	参加生徒の様々なニーズをもって参加されていると感じます。ゲームをしたいという生徒、技術を高めたいという生徒、様々なニーズがあると感じました。クラブとして、活動機会の創出が目的なのか、専門的な知識や技術を高めることが目的なのかをはっきりさせることも必要と感じました。 大会参加については、大きな課題の一つです。学校のチームとしてユニフォームを購入させるのか、業者への発注が多い年度当初は、納品までに時間がかかるので、早めに動き始めないと新入生に対する準備ができません。 また、来年度、日曜日の活動ができないということに対して、大会が間近に迫っている新3年生はどう考えるのか、心配です。体育館を使用する部活動については、体育館使用のローテーションに支障が出るのではないかと思います。練習不足の中で大会に参加することに対して、不安も残ると思います。
宮内委員	スポーツ少年団の関係者に意見を聞いてみたところ、場所の確保ができなくなるのではないかとということを心配していました。6年生までで指導を終えている少年団があれば、中学生も指導している少年団もあります。 協賛について、上尾市のスポーツ少年団には後援会組織がありますが、企業の営業活動が入ってくると、今後、寄付はどうなるのか不安でもあります。総合的に考えていかなければならないと思います。
萩原副委員長	まず、陸上競技は、令和5年度から取り組んでいます、当日にキャンセルになった家庭に連絡をし続けましたが、連絡がとれないことがあり、困りました。活動内容は、専門的な技術を身に付けてもらうということをコンセプトとして指導しました。ただ、記録会は実施しております。 ニュースポーツについては、チャレンジ事業ということで12月にミニバレーとヘルスバレーを実施させていただき、3月にはボッチャとマットスという競技を実施しますが、種目によっては、なかなか浸透していないのが現状です。学校の部活動にはない種目なので、疲れた子供が、心と体

	を癒しに来てくれるような環境になれば良いなと思っていました。子供とともに、保護者も一緒に参加してもらうことをコンセプトにしました。いろいろなものを皆さんに紹介し、その中で、子供が関心をもったものを深めていけば良く、高齢者の施設等で教えることができれば、ボランティアにもなるのではないかと考えています。
只隈委員長	それでは、次に協議に移ります。 (1) 令和7年度事業計画(案)について及び(2) 令和7年度地域クラブ活動実証事業(案)について、まとめて事務局より説明願います。
事務局	協議に先立ち、令和7年度の事業計画及び地域クラブ活動実証事業について、御提案いたします。 最初に、現状における主な課題と今後の解決策をまとめました。 解決策については、主な事業内容と重複しますので、ここでは課題のみ御確認いただければと存じます。 課題1は「実施主体団体及び会場の確保」でございます。 令和7年度の種目数、拠点数拡大に向け、実施に係る体制・環境づくりが必須であることをまとめております。 課題2は、関係者の理解促進でございます。 本事業を円滑に進めていくためには、関係者が事業内容を共有し、同一歩調で協調していくことが不可欠となります。 課題3は、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」の持続可能な体制整備です。 現在、市の歳出により運営している英語クラブ事業を、持続可能な運営体制に移行していく必要があることをまとめております。 課題4につきましては、困窮家庭への具体的支援策の整備としました。 御承知のとおり、地域クラブ活動運営には、受益者負担有りでの事業推進となるため、経済的な理由で地域クラブへの参加を見合わせる生徒が出ない体制づくりが不可欠です。 そして課題5は、地域クラブによる大会参加の在り方に関する検討をあげました。こちらについては、中体連と連携しながら検討する必要があると考えております。 以上を踏まえ、34項に事業計画一覧をまとめてございます。 それでは、いくつか事業内容を抽出して御説明いたします。

最初に、「AGEO地域クラブ課題解決タスクフォース」についてでございます。

関係者の理解促進、AGEO地域クラブの中体連主催大会に向けた体制及び環境整備、休日の学校部活動の地域クラブへの完全移行と、休日に教職員が勤務しない体制づくり等に向けた各論協議を実施するため、新組織を設置することを検討しております。

続いて、(8)「上尾市立中学校に係る部活動の方針」一部改訂・施行についてでございます。

記載のとおり、令和7年度4月より、休日の学校部活動は「原則、土曜日のみ」に実施する方向で、現在方針改訂に向けた手続きを進めております。「土曜日は学校部活動、日曜日は地域クラブ活動」と線引きを明確にしつつ、地域クラブ活動実施に係る会場の確保と、段階的な地域クラブ活動への移行を図りつつ、「AGEO地域クラブ」へのシームレスな移行を推進したいと考えております。別冊資料⑧として、令和7年度版の推進イメージ「ロードマップ」を示しておりますので、御確認をお願いいたします。

続いて、令和7年度 地域クラブ活動実証事業についてでございます。

まず、別冊資料⑧のロードマップ下段に示したとおり、次年度の実証事業は、文化芸術に係る地域クラブ活動実施も含めた「AGEO地域クラブ」事業と「イングリッシュサロン」事業の2本立てとしたいと考えております。

資料4を御覧ください。

こちらは実証事業実施の主な目的についてまとめたものとなります。

新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業では、令和6年度に引き続き、統括コーディネーターを総合型地域スポーツクラブに委託した上で、19種目28拠点、スポーツに加え、文化芸術に係る地域クラブ活動を、同じ管理運営体制の下で実施し、効果検証を行う予定で考えております。

なお、「AGEO地域クラブ」実証事業につきましては、スポーツ庁、文化庁の委託事業に応募し、委託事業費を得た上で事業を進めたいと考えています。

上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」事業につきましては、将来的な「AGEO地域クラブ」への合流を見据え、「AGEO地域クラブ」

	実証事業と運営条件をできるだけそろえた上で実施することで、自走体制を構築したいと考えております。 続いて、AGEO地域クラブ実証事業についての事業概要となります。 まず、基本構想イメージ、統括コーディネーターの主な役割については、今年度と相違ありません。 活動の実施については、今年度9月開始としたものを、5月開始として、年間を通じた取組に変更したいと考えております。実施日は原則すべて日曜日または祝日となります。 実施時間につきましては、部活動ガイドラインに示された休日3時間以内を踏襲し、記載のとりの時間で実施することといたします。 実施種目及び拠点につきましては、別冊資料⑨を御覧ください。 こちらは、あくまでも想定している種目の一覧と、地域への広がりを視覚的に捉えやすくするためにまとめた資料となりますが、記載のとおり、19種目28拠点、参加生徒想定870名程度、指導者数56名程度の取組として、拡大を図ってまいります。 なお、先ほど説明いたしました、児童生徒アンケートを参考に種目の設置を検討すること、実施主体団体公募の状況も大きく影響しますので、令和7年度の種目、拠点については、記載のとおりとならない可能性も高いことを御承知おきいただければと存じます。 活動方法については、今年度同様、いわゆる「講習会形式」を原則といたしますが、児童生徒のニーズを踏まえ、いわゆる他クラブとの交流の実施については、実施を可とする方向で考えております。 また参加対象につきましては、中学校全学年を対象とし、種目によっては、小学生の参加も可能とすることを検討しております。 実施体制については大きな変更はございませんが、種目数が増えますので、統括コーディネーターの目安となる人数につきましては、今年度の倍、計4名の記載としております。 また、参加費につきましては、今年度の運営状況を踏まえ、1回あたり500円、月額での集金を行いたいと考えており、それに加え、スポーツ安全保険費用及びAGEO地域クラブ全種目統一ウェアを導入する関係で、入会費を設定する方向で検討しております。 なお、次年度も指導者謝金の支払いは行いますが、現在金額は検討中です。 以上の内容について御理解をいただくため、41項下段、その他事項と
--	--

して記載しておりますが、関係機関への事前説明と協力依頼等につきましては丁寧に実施したいと考えております。

また、42項に記載のとおり、積極的な啓発活動として、ホームページの活用に加え、SNSも積極的に活用したいと考えており、InstagramやFacebook等の活用を進めたいと考えております。

そして、「企業パートナーシップ制度」の導入・運用を進めてまいります。今年度は、2社様より協賛をいただくこととなりましたが、明確な対価がなければ、多くの協賛を集められないことを、今年度の実証事業で痛感したことから、企業協賛による対価を表出させるため、電子媒体への広告掲載と生徒が着用する活用用Tシャツへの広告掲載等を行いたいと考えております。

続けて、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」について説明いたします。

現在、イングリッシュサロンは、市の政策企画提案制度による予算措置により、他の地域クラブ活動とは活動主体を別にした単独事業として実施しています。

しかしながら、将来的には、現在スポーツに係る地域クラブにおいて設立している、「AGEO地域クラブ」の実施主体の1つとして組み込むことを想定していることから、市で策定している「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づく形にしていく必要があります。

それらを踏まえて、令和7年度は、1回500円の参加費及び別途傷害保険料を徴収すること、拠点数を4拠点とすること、日曜日に実施すること、運営側と保護者とのコミュニケーションアプリ「スGRAM」を利用し、各種連絡や出欠確認、参加費の徴収を行う予定です。

まとめとなりますが、本事業を持続可能な活動としていくために、今年度の成果や検証で得たノウハウをもとに、「誰でも気軽に生きた英語を学べるイングリッシュサロン」を通して、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力を高める活動を行うとともに、他の休日の地域クラブ活動と同じように、受益者負担による参加費の徴収や拠点の再構成を行うことにより、委託業務に係る経費を削減しながら取り組んでいきたいと考えております。

チャレンジ事業につきましては、年度の途中で新たな効果検証実施の必要性が出た場合において、実施する可能性が高いことを申し添えます。

只限委員長	事務局からの提案は以上となります。 ただいまの説明について、質問等がございましたらお願いします。 一番の変更点は、種目数が増えることと、受益者負担が増えることです。 また、会場確保の観点から、日曜日は、原則、部活動はないということ でよいでしょうか。
事務局	日曜日は、「学校施設を使わない」ということです。 日曜日に、AGEO地域クラブで学校施設を使用していく関係上、原則、 部活動は土曜日に行うという形にしています。
只限委員長	イングリッシュサロンについては、文化芸術のメインということによろ しいでしょうか。
事務局	イングリッシュサロンについては、市の政策企画提案制度に基づき、イ ングリッシュサロン事業だけに予算措置がされております。他の文化芸術 活動については、AGEO地域クラブ事業に入れ込んでいく形をとりました。
只限委員長	ありがとうございました。 それでは、本協議会としては、事務局に、ここで出た意見を反映した上 で、令和7年度事業、及び地域クラブ活動実証事業について、進めていた だくということによろしいですか。
全委員	異議なし。
只限委員長	今年も、生徒中心であること、先生方の負担軽減になること、保護者に 対しても良いものであることが大事だと思います。 長時間に渡り、貴重な御意見をありがとうございました。また、進行へ の御協力ありがとうございました。